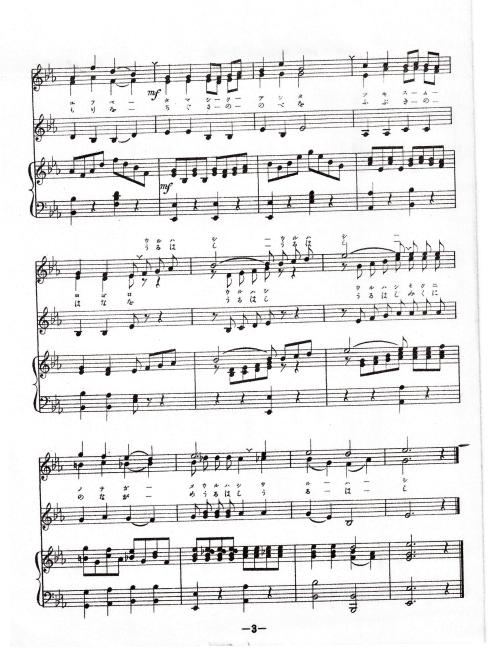


即國の眺め







起葉づる山も、枯野の原も、 四つの時々美はと清さ。 四つの時々美はと清さ。 歌ひ、讚へよ御國のながめ。 取のつの時々美はし清し。 ないない、青葉の木かげ、 (時呼鳴呼)歌ひて讚へよ。 美はししく、御園のながめ美はし。玉敷く朝、月澄む夜頃。 御國のながめ 干草の野邊な、吹雪の花な。 多べに)飲ひて讃へよ。 、御園のながめ美はし。 犬童珠溪作歌 おもしろのここちょの 鳥の歌や 御空よりひびき來る 樂かあらずか 御空より降りも來る 花かあらずか おもしろのうつくしの 蝶の舞や 友と巧か競ひて鳴くよアレ のごを張りてピョロピョロ 友と羽袖なかはして舞ふよアレ 花によひて ヒラリノ 蝶 8 F = (小 ヒラく 鳥 舞ふよ舞ふよアレ 干草の花より花へと あこがれ遊ぶ胡蝶や よろこび遊ぶ小鳥や 若葉の枝より枝へと 田 鳴くよ鳴くよアレ 治 期作歐 大正十四年五月五日發行大正十四年五月一日印刷